



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月1日
東

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所
 コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 上級常務執行役員 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2018年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	186,691	△1.2	19,190	△13.7	19,426	△13.0	13,067	△9.3
2017年3月期第3四半期	188,944	2.0	22,244	1.5	22,328	5.2	14,407	7.6

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 13,893百万円(△8.9%) 2017年3月期第3四半期 15,252百万円(10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	97.80	97.68
2017年3月期第3四半期	107.83	107.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	187,584	143,300	72.4
2017年3月期	182,011	135,056	70.4

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 135,744百万円 2017年3月期 128,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2018年3月期	—	0.00	—		
2018年3月期(予想)				42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	256,000	1.4	27,500	△4.7	27,500	△3.9	17,500	△5.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	133,865,800株	2017年3月期	133,821,800株
② 期末自己株式数	2018年3月期3Q	292,997株	2017年3月期	166,997株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	133,611,015株	2017年3月期3Q	133,610,509株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております(2018年3月期第3四半期292,165株、2017年3月期166,165株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2018年3月期第3四半期228,396株、2017年3月期第3四半期148,803株)。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 2018年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,572,803株により算定しております。
- 3 当社は、2018年2月1日(木)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、円安基調が継続する中、輸出の持ち直しや設備投資意欲の高まりなど企業活動の状況に改善が見られました。また、雇用者所得の緩やかな回復や株式市場の上昇とともに、国内の消費マインドにも緩やかながら持ち直しが見られました。

このような状況の下、当社グループの国内事業では、「フルグラ」の海外消費分が大きく変動したこと、ならびにポテトチップスは第2四半期以降馬鈴しょの収穫の本格化とともに売上が回復したものの、第1四半期において昨年夏の台風被害に起因した馬鈴しょ不足から販売アイテムの調整を行ったこと等により、売上が減少しました。

一方、海外事業では、主力地域である北米の売上不振が続くなか、第2四半期から中国向けに「フルグラ」の販売を開始したことや、前期に新規参入したインドネシア等の売上が伸長したことにより、円貨ベース、現地通貨ベースいずれも売上が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は186,691百万円（前年同期比1.2%減）となりました。営業利益は、シリアル食品およびポテト系スナックならびに北米事業の売上減少の影響に加え、国内外工場の稼働低下による原価率の上昇により19,190百万円（前年同期比13.7%減）となり、営業利益率は10.3%（前年同期比1.5ポイント悪化）になりました。経常利益は、為替差益183百万円等により19,426百万円（前年同期比13.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、13,067百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

	2017年3月期 第3四半期		2018年3月期 第3四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	168,045	88.9	161,492	86.5	△3.9	△3.9
海外売上高	20,899	11.1	25,198	13.5	20.6	15.8
合計	188,944	100.0	186,691	100.0	△1.2	△1.7

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
① 食品製造販売事業	186,280	183,709	△1.4
国内食品製造販売事業	165,380	158,510	△4.2
国内スナック菓子	129,870	129,374	△0.4
国内シリアル食品	23,922	18,409	△23.0
国内その他食品	11,586	10,726	△7.4
海外食品製造販売事業	20,899	25,198	20.6
海外スナック菓子	20,899	23,541	12.6
海外シリアル食品	—	1,656	—
② その他事業	2,664	2,982	11.9
合計	188,944	186,691	△1.2

① 食品製造販売事業

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、「ポテトチップスクリスプ」等の新規スナックがその他スナックの売上拡大に貢献した一方、ポテト系スナックの売上は順調に回復、拡大基調で推移するものの、第1四半期における減収の影響が大きく、前年同期とほぼ横ばいとなりました。

国内スナック菓子の製品別売上高は以下のとおりです。

売上高	2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテト系スナック	94,620	91,914	△2.9
ポテトチップス	57,207	54,880	△4.1
じゃがりこ	27,355	26,536	△3.0
Jagabee/じゃがポックル	10,057	10,498	4.4
小麦系スナック	16,694	17,052	2.1
かっぱえびせん	8,077	8,060	△0.2
サッポロポテト等	8,617	8,991	4.3
コーン系・豆系スナック	13,142	12,954	△1.4
その他スナック	5,412	7,452	37.7
国内スナック菓子 計	129,870	129,374	△0.4

- ・ポテト系スナックの売上高は、第1四半期に昨年の馬鈴しょ調達不足から販売アイテムの調整を行った影響が大きく、前年同期と比べ減収となりました。ポテトチップスにおいては、北海道での馬鈴しょ収穫に伴って「ピザポテト」等の販売を再開し、加えて47都道府県の地域の味を再現したポテトチップスの発売等が奏功し、第2四半期以降の売上は好調に推移しました。
- ・小麦系スナックの売上高は、第1四半期においてポテトチップス等の休売を背景に需要が高く、前年同期と比べ増収となりました。
- ・コーン系・豆系スナックの売上高は、ポップコーン等のコーン系スナックの販売不調により、前年同期と比べ減収となりました。
- ・その他スナックの売上高は、前年第2四半期から販売開始した「ポテトチップスクリスプ」の販売地域の拡大とフレーバー展開を進め、前年同期と比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、「フルグラ」の製品ラインナップを拡充したものの、海外消費分の変動が減少に大きく影響したほか、当期からコーンフレークの販売を終了したことにより、前年同期と比べ減収となりました。

・国内その他食品

国内その他食品には、ベーカリー事業、青果用馬鈴しょ等の販売等が含まれています。

国内その他食品の売上高は、ベーカリー事業における売上減少等により、前年同期と比べ減収となりました。

(海外食品製造販売事業)

・海外スナック菓子

海外スナック菓子の売上高は、前期に新規参入したインドネシア等での売上が順調に拡大し、前年同期と比べ増収となりました。一方、主力地域である北米では豆系スナック「Harvest Snaps」の大手顧客への販売が振るわず減収となりました。

・海外シリアル食品

海外シリアル食品は、第2四半期から中国向けに「フルグラ」の越境ECによる販売を開始し、第3四半期には主に中国独身の日（ダブルイレブン）商戦での売上が貢献しました。

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高		2017年3月期 第3四半期	2018年3月期 第3四半期	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
北米		8,125	7,239	△10.9
アジア	中華圏	4,006	6,313	57.6
	韓国	4,058	4,089	0.8
その他アジア・豪州		4,040	6,501	60.9
欧州		669	1,054	57.5
海外食品製造販売事業 計		20,899	25,198	20.6

*1 中華圏には、中国、台湾、香港における海外スナック菓子と海外シリアル食品の売上を含みます。

*2 その他アジア・豪州には、タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、オーストラリアにおける売上を含みます。

② その他事業

その他事業には主に物流事業、販売促進ツール関連事業が含まれています。その他事業の売上高は、主に販売促進ツールの売上が増加したことにより、前年同期と比べ増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ5,573百万円増加し、187,584百万円となりました。この主な要因は、末日が金融機関休業日であったことから入金が翌月にずれ込み、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ2,670百万円減少し、44,284百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べ8,243百万円増加し、143,300百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.4%となり、前連結会計年度末と比べ2.0ポイント上昇しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ18,726百万円減少し、25,900百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加および税金等調整前四半期純利益の減少等により前年同期と比べ6,926百万円収入が減少し、6,766百万円の純支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有価証券の償還による収入が増加したことにより前年同期と比べ1,486百万円支出が減少し、10,505百万円の純支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額が減少したことにより前年同期と比べ2,282百万円収入が減少し、1,726百万円の純支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の連結業績予想につきましては、2017年10月30日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,961	12,255
受取手形及び売掛金	28,600	44,033
有価証券	28,999	22,999
たな卸資産	9,895	12,512
その他	6,462	8,802
貸倒引当金	△33	△8
流動資産合計	97,884	100,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,734	28,093
機械装置及び運搬具（純額）	28,144	29,094
土地	11,626	11,643
建設仮勘定	1,840	4,305
その他（純額）	1,489	1,469
有形固定資産合計	70,835	74,606
無形固定資産		
のれん	1,618	1,173
その他	2,864	2,536
無形固定資産合計	4,483	3,710
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,878	8,742
貸倒引当金	△70	△69
投資その他の資産合計	8,808	8,673
固定資産合計	84,126	86,990
資産合計	182,011	187,584

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,668	9,950
短期借入金	1,107	5,211
未払法人税等	5,577	1,934
賞与引当金	4,247	3,241
役員賞与引当金	139	93
株式給付引当金	50	—
その他	16,288	14,049
流動負債合計	37,079	34,480
固定負債		
役員退職慰労引当金	507	465
役員株式給付引当金	111	90
退職給付に係る負債	7,669	7,704
資産除去債務	654	658
その他	933	883
固定負債合計	9,875	9,803
負債合計	46,954	44,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,020	12,031
資本剰余金	4,781	4,781
利益剰余金	111,936	119,383
自己株式	△539	△1,073
株主資本合計	128,198	135,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	755
為替換算調整勘定	492	820
退職給付に係る調整累計額	△1,173	△954
その他の包括利益累計額合計	△77	622
新株予約権	11	7
非支配株主持分	6,924	7,547
純資産合計	135,056	143,300
負債純資産合計	182,011	187,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	188,944	186,691
売上原価	105,121	106,614
売上総利益	83,823	80,076
販売費及び一般管理費	61,578	60,886
営業利益	22,244	19,190
営業外収益		
受取利息	64	62
受取配当金	36	40
為替差益	78	183
その他	291	225
営業外収益合計	470	512
営業外費用		
支払利息	20	58
開業費	129	—
減価償却費	128	27
その他	108	190
営業外費用合計	386	276
経常利益	22,328	19,426
特別利益		
固定資産売却益	11	6
助成金受入益	91	—
その他	13	—
特別利益合計	115	6
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	406	117
その他	18	13
特別損失合計	429	131
税金等調整前四半期純利益	22,015	19,301
法人税、住民税及び事業税	6,492	5,671
法人税等調整額	706	648
法人税等合計	7,198	6,319
四半期純利益	14,816	12,981
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	409	△86
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,407	13,067

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	14,816	12,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	151
為替換算調整勘定	103	541
退職給付に係る調整額	195	219
その他の包括利益合計	436	912
四半期包括利益	15,252	13,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,797	13,766
非支配株主に係る四半期包括利益	454	126

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,015	19,301
減価償却費	5,365	5,921
のれん償却額	469	450
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	△26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,112	△1,010
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	△46
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△5	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	298	271
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	36	29
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△40	△41
受取利息及び受取配当金	△101	△103
支払利息	20	58
為替差損益 (△は益)	25	△329
固定資産売却損益 (△は益)	△7	△5
固定資産除却損	406	117
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,523	△15,233
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△368	△2,540
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,102	193
未払金の増減額 (△は減少)	482	△986
その他	1,627	△3,464
小計	8,497	2,549
利息及び配当金の受取額	107	108
利息の支払額	△17	△59
法人税等の支払額	△8,427	△9,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	160	△6,766

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,877	△9,234
有形固定資産の売却による収入	16	39
無形固定資産の取得による支出	△333	△318
有価証券の取得による支出	△9,998	△23,998
有価証券の償還による収入	6,000	23,000
投資有価証券の取得による支出	△12	△13
貸付けによる支出	—	△120
貸付金の回収による収入	32	120
定期預金の預入による支出	△725	△1,599
定期預金の払戻による収入	823	1,599
差入保証金の差入による支出	△171	△66
差入保証金の回収による収入	144	85
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	42	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	62	—
その他	5	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,992	△10,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,814	4,083
長期借入金の返済による支出	△47	—
自己株式の取得による支出	—	△599
ストックオプションの行使による収入	16	17
非支配株主からの払込みによる収入	—	502
配当金の支払額	△4,677	△5,617
非支配株主への配当金の支払額	△474	△16
リース債務の返済による支出	△74	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	556	△1,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	271
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,287	△18,726
現金及び現金同等物の期首残高	47,323	44,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,036	25,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。